

平成29年4月

税法学原論研究会 第17回のお知らせ

東京青年税理士連盟
会 長 手塚 久雄
研究部長 湊 真志

皆様、こんにちは。税法学原論研究会第17回を下記要領で実施します。

今回のテーマは、「税務制裁制度」です。納税者の税法違反に対しては、加算税等の行政上の制裁が課され、さらに刑事制裁が科される場合もあります。どのような場合に、加算税、とりわけ重加算税が課されるのか、また行政上の制裁と刑事制裁はどう違うのか、そしてどのような関係にあるか、といった点について検討していきます。

国税通則法が改正され、加算税賦課処分についても理由附記が行われることとなりました。ここであらためて、加算税を含む税務制裁制度の全容について、考えていきたいと思えます。

勉強会後には懇親会を行います。会員同士の情報交換の場でもありますので是非ご参加ください。お待ちしております！

記

日 時 : 平成29年6月19日(月) 18:40~21:00
場 所 : 東京税理士会館(下記地図参照)
チューター : 森 超会員
オブザーバー : 小池 幸造会員(税理士・元静岡大学教授・元全国青税会長)
対 象 : 会員・準会員
内 容 : 税法学原論第7版
第27章 税務制裁制度
参 加 費 : 500円(資料代) ★新合格者は無料です！

(今後の開催予定:後半)

	開催予定日	章 テーマ
16	5月18日(木)	24 税務職員の守秘義務 26 税務争訟制度
1 7	6月19日(月)	27 税務制裁制度
18	7月14日(金)	25 税理士制度

(開催場所)



※開催日は毎月10日前後を目安に日程を調整し、個別にご案内します。

なお、当日、テキストの『税法学原論』第7版を定価4,320円(税込)のところ、3,500円(税込)で販売致しますので、お持ちでない方はこの機会にぜひ